学校番号	１００１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳　地理探究（帝国書院），新高等地図（東京書籍）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理総合の学習で身に着けた地理的知識や地図・地理統計等の資料を読み解く技能を活用してさまざまな地理的諸問題を深く考察し、追究して疑問を解決し、意見表明できる力をつけることを目標とする。
・地理探究で習得した力を生かして、今後も現代の日本、世界の構成員のひとりとして、よりよい社会実現のために諸問題を主体的に考え、実践して解決を探ることができるようにする。
・入試に対応できる実践力を身に着ける。
・そのため日頃の学習では、予習を基本とし、受動的にならず自ら進んで考え、わからないこともいきなり質問するのではなく、まず自分で解決する姿勢が求められる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・「現代世界の系統地理的考察」では、地理総合で扱った自然環境や産業などの知識や地図、統計資料を活用する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・新たに交通・通信、貿易、観光、人口、村落と都市、生活文化、民族・宗教などについても独立した項目として扱うことで知識、技能の幅も広げて、十分な思考力、判断力、表現力を発揮に必要なスキルを身に着けることを目標とする。
【主体的に学習に取り組む態度等】
・「現代世界の地誌的考察」「現代世界と日本の国土像」では、前項で獲得したスキルを活用して世界の諸地域や日本の地理的諸課題を主体的に考察する力を養うことを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理総合で学んだ知識・技能をベースにして、さらに多くの地理用語を正しく理解し、地図や地理情報システムの読図と応用のスキルを身につけ、地理統計や図表、統計地図から必要な情報を適切、効果的に読み取ることができる。	学びを通じて現代の地理的諸課題に気づき、その調査研究にあたって深く考察し判断することにより、的確な結論を導き出すことができる。 また、調査研究の成果を地図や資料を活用して効果的な手法で説明し意見表明ができる。	これからの地球社会に生きていく人間として、身につけた地理的なもののとらえ方や考え方を、自己の日常生活や身の回りの事象や日本、世界で取り組むべき課題の解決に向けて、主体的、協働的に考え、実践しようとする姿勢が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部　現代世界の系統地理的考察　第1章　自然環境	序節　地球環境と人間 1節　地形 2節　気候 3節　日本の自然環境 4節　地球環境問題	a. 地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b. 地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入

	2資源と産業	1節　農林水産業 2節　食料問題 3節　エネルギー･鉱産資源 4節　資源･エネルギー問題 5節　工業 6節　第3次産業	a.資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b.資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c.資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プレゼン	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入
	第3章　交通・通信と観光，貿易	1節　交通･通信 2節　観光 3節　貿易と経済圏	a.交通･通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b.交通･通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c.交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プレゼン	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入

	第4章　人口，村落・都市	1節　人口 2節　人口問題 3節　村落と都市 4節　都市・居住問題	a. 人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b. 人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークシート 確認テスト	定期考査 フィールドワークのワークシート プレゼン	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入 授業感想文
	第5章　生活文化，民族・宗教	1節　衣食住 2節　民族・宗教と民族問題 3節　国家の領域と領土問題	a. 生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b. 生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入

後期	第2部　現代世界の地誌的考察　第1章　現代世界の地域区分	1節　地域区分 1　地域区分の意義と指標	a. 世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに，世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念，地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について，各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。 b. 世界や世界の諸地域の地域区分について，地域の共通点や差異，分布などに着目して，主題を設定し，地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 現代世界の地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入
	第2章　現代世界の諸地域	序節　地域の考察方法 1　地誌的な考察方法 1節　中国 2節　韓国 3節　ASEAN諸国 4節　インド 5節　西アジアと中央アジア 6節　北アフリカとサハラ以南アフリカ 7節　EU諸国 8節　ロシア 9節　アメリカ合衆国 10節　ラテンアメリカ 11節　オーストラリアとニュージーランド	a. いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b. 現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入

	第1章　持続可能な国土像の探究	1節　将来の国土の在り方 1　日本の強みと地理的な課題 2節　持続可能な日本の国土像の探究 1　課題の把握 2　課題の追究 3　課題の解決	a. 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解すること。 b. 現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現すること。 c. 持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとすること。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出物、発問に対する回答、コメント欄記入

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度